

令和3年度事業計画

1 基本方針

わが国の経済の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、先行きについては感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、持ち直しの動きが続くことが期待されます。

一方、わが国の総人口（令和2年9月15日現在推計）は、1億2,586万人で、前年に比べ29万人減少していますが、65歳以上の高齢者人口は、3,617万人と、前年（3,587万人）に比べ30万人増加し、過去最多となりました。総人口に占める割合も28.7%と、前年（28.4%）に比べ0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。

国では少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中で、経済社会の活力を維持するため、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高齢者が活躍できる環境の整備を目的として、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正され、令和3年4月1日から施行されました。従前からの65歳までの雇用確保（義務）に加え、65歳から70歳までの就業機会の確保（努力義務）が新設されました。

企業での就業年齢の引き上げは、シルバー人材センターの会員確保にとってはマイナス要因であり、新型コロナウイルス感染症の流行は受注業務の減少につながりますが、人生100年時代を迎え、生涯現役（エイジフリー）で活躍できる社会を創る必要性が指摘される中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するシルバー人材センターの役割は、一層大きなものになっています。

東海市シルバー人材センターでは、基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うため「会員拡大」を最重要課題とし、併せてニーズに沿った「就業機会の確保」を進めます。

また、地域社会の支え手として地域に愛され、信頼される存在となるべく、安定的な事業運営を行うため、会員の安全・適正就業の徹底に努めるとともに事務局体制の見直しなどにより組織の強化を図ります。

そして、地域に貢献できるシルバー人材センターを目指し、最終年度となる中期計画の検証と見直しを行いながら、次の施策を実施することとします。

2 実施施策

- (1) 会員の増強と能力開発
- (2) 就業機会の開拓と創出
- (3) 安全・適正就業の推進

- (4) 組織の強化
- (5) 中期計画の策定

3 事業実施計画

(1) 会員の増強と能力開発

令和2年度末の会員数は507人で、令和元年度末の会員数513人に
対し、6人の減少となっています。中期計画の目標値は、2年度が540人、
3年度が550人となっています。こうした中で、

ア 会員の増強は、組織を活性化するとともに就業先を開拓し就業機会を
拡大する大きな要素であることから、PR用案内チラシを市広報紙へ折
込み、市内全戸及び臨海部の企業に配布するほか、市役所を始め各公共施
設に設置するとともに、ホームページの掲載内容の充実に努め、シルバー
人材センターが実施する事業等の周知及び会員の勧誘を図ります。

イ 会員の増強を図るには、直接の声掛けや口コミの効果が高いことから、
地域のイベントや退職者対象のセミナー等に参加して、出張入会説明会
やPR活動を行うとともに、会員の友人紹介や「夫婦で会員登録活動」等
を展開し、新会員の確保に努めます。

特に、女性会員の構成比は、現在40パーセントを切る状況の中、生
活関連サービス等の需要が高まり、女性に適した就業機会が増加して
いることから、女性会員の入会促進に努めます。

ウ 生き生きと働く会員の姿が見られることが、会員の拡大につながる
ことから、新規会員の希望職種等の的確な把握に努め、就業マッチングを
推進します。

また、清掃ボランティア等の会員交流事業を展開し、会員が地域を元気
に歩く姿を通してシルバー人材センターの認知度向上を図ります。

エ 会員の増強は、新入会員の加入促進ばかりでなく、現有会員がシルバー
人材センターに魅力を感じ、在籍し続けることも重要であることから、会
員が新たに取得した資格・技能や就業希望職種の的確な把握に努め、就業
とのベストマッチングに努めます。

オ シルバー人材センター事業を円滑に実施するためには、会員の意識・
知識・技能を高める能力開発が必要となることから、発注者の満足と信頼
を得るうえでのマナーの習得を図る接遇講習会、技術の向上や就業会員
の育成を目的として技能講習会や安全・適正就業講習会等を適宜実施し
ます。また、連合会等が主催する研修会に参加して、顧客満足度の向上、
就業会員の安全・適正就業の推進、各種技能分野の後継者育成を推進しま
す。

(2) 就業機会の開拓と創出

令和2年度の請負事業の契約件数は、年間2,601件、契約金額は1億9,158万2,000円、派遣事業の契約件数は年間90件、契約金額は6,941万5,000円となっています。中期計画の目標値は、請負契約では令和2年度の契約件数が年間2,800件、契約金額は1億9,500万円、令和3年度の契約件数が年間3,000件、契約金額は2億円、派遣事業では令和2年度、3年度とも契約件数が年間60件、契約金額が5,000万円となっています。

現在新型コロナウイルス感染症の影響もあり、請負事業、派遣事業ともに受注が減少傾向にある中、事業の活性化のための就業機会の確保について、

ア 新しい分野の就業先の開拓と創出によりシルバー人材センターの活性化を図るため、事務局職員と会員が一体となってPR活動を推進し、組織的な就業機会の開拓に取り組みます。

イ 会員が保有する特技や技能講習等で習得した技能を活用して、就業機会の開拓や創出を図ります。

ウ 高齢者や子育て世代の支援を行うための態勢づくりの一環として、女性会員の加入促進を図ることと並行して、福祉・家事援助サービス、子育て支援事業など女性向け就業分野の開拓に取り組みます。

エ 会員の就業機会の拡大を図るため、受注履歴や発注者からの問い合わせが多い職域等の調査・分析に基づき、企業、公共、一般家庭等への働きかけを行うとともに、就業実績のある企業等については、請求書持参時などにリーフレットやチラシ等を活用して新規事業の開拓を推進します。

オ 独自事業として、現在実施している書道教室、小物づくり、刃物研ぎ、編み物教室のPRに努めるとともに、先進事例を収集し新規事業導入に向け調査研究し、事業の普及啓発及び就業の拡大を図ります。

(3) 安全・適正就業の推進

シルバー人材センターの目的である高齢者の生きがいの充実、地域社会への貢献を果たすためには、会員自身が健康を維持し、安全な就業を継続して行うとともに適正就業の徹底が求められており、そうした中で、安全委員会を「安全・適正就業委員会」に発展させたうえで、

ア 安全・適正就業委員会において策定する安全・適正就業対策基本計画に基づき、定期的に事故防止対策の調査・検討を行うとともに、定時総会で安全就業宣言を行い、機会あるごとに就業に際しての心身の安全と就業途上の交通安全の徹底に努めます。

イ 全シ協の実施する「安全適正就業強化月間」、県シ連の実施する各種「事

故防止キャンペーン」などを通じて会員の安全意識啓発を図るとともに、安全・適正就業委員によるチェックシートを活用した安全パトロールの他、事務局職員による随時パトロールを実施することにより、安全就業を促します。

ウ 発生頻度の高い蜂刺され事故、飛び石事故、敷設物の破損事故や重篤事故にもつながる転落等による傷害事故を未然に防ぐため、作業別安全基準の遵守、作業前の安全点検確認や作業手順のチェックの徹底を図ります。

エ 元気に就業が続けられるよう健康講話等を実施し、健康と安全に関する意識啓発を図ります。

オ 労働者派遣事業については、衛生管理者、産業医等の配置を行い、安全衛生管理体制を整備するとともに、産業医による労働安全講話等を実施し、安全就業の徹底に努めます。

カ 適正就業を一層推進するため、受注時には自主点検表を活用して点検を行い、事業所等からの発注内容に指揮命令等が発生し、請負・委任契約で受注出来ないものについては、派遣事業又は職業紹介事業若しくは受注しない等適切に対処します。

キ 長期就業については、ローテーション就業等での会員の交替により、就業機会の均等化、公平な就業に努めます。

(4) 組織の強化

将来にわたる安定的な事業運営のためには、組織の強化が重要であることから、

ア 会員の自主的活動を促進し、更なる事業の発展のため各種研修会に参加し研鑽を重ねることにより、理事会・各委員会・地域班・職群班等の組織の活性化を図ります。

イ 委員会活動については、一般会員の参画を求めるなど、広範な意見を反映し、自主的に企画立案・実務運営ができるように努めます。

ウ 独自事業やサークル活動、清掃ボランティア活動の他、会員間の親睦事業や健康増進事業等を実施し、職群・地域の枠を超えた会員相互の交流の活性化を図り、組織の一体感を高めます。

エ 事務局体制を正職員 2 人、嘱託職員 5 人、臨時職員 1 人から、正職員 3 人、嘱託職員 4 人、臨時職員 1 人とすることにより組織の安定化を目指すとともに、積極的な研修会等への参加及び職員個々の自己啓発により事務局全体のレベルアップを図ります。

(5) 中期計画の策定

現在の中期計画が、令和 3 年をもって終了（平成 29 年度から令和 3 年度

まで) するため、調査研究委員会において、計画の達成状況と課題の分析を行い、その結果に基づき、様々な社会情勢の変化に対応した新5か年計画を策定し、さらなる発展を目指します。